

古墳の発掘調査について

「古墳」の発掘調査という言葉聞いても、具体的に何をするのか分からないという人が多いと思います。「古墳」の発掘調査には様々な要因によって失われてしまう可能性のある古墳の情報を記録や保存することを目的とする「緊急調査」と地域の歴史や文化を研究することを目的とした「学術調査」の二つがあります。この「古墳」が時代と共に失われてしまう前に過去の人々の生活の痕跡を記録として残すことや地域の歴史や文化を解明することを目的として発掘調査を行います。

まず初めに本当に古墳であるかを調べるために人為的な掘削された痕跡を確認する調査を行います。次に古墳の形を明らかにするために地形測量調査を行います。その後石室内部の調査や墳丘の発掘調査を行います。最後に石室の構築過程を明らかにするために、石積みの裏面などで、部分的に断ち割り調査をしたり、墳丘形態の解明のための調査を行って発掘調査は終了です。

発掘調査を終えたら、**出土品整理作業**を行うことで、この古墳が記録として残り、その地域の歴史や文化を解明することに大きく貢献していきます。

出土品整理作業とは、発掘した遺物の洗浄や復元、遺構の平面図・断面図など発掘調査した古墳の情報を整理する作業のことです。

尾崎喜左雄博士の古墳発掘の資料も保管されており、これらは今も見ることができます。



石ノ塔古墳の発掘調査の写真
石ノ塔古墳 1968年



石室の測量風景の写真
赤堀村39号古墳 1962年